

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

品川区 2013年度予算

区民生活を守る姿勢弱く 開発・道路建設推進

来年度予算が示されましたが、「アベノミクス」同様、区民生活を守る姿勢は見えません。「全国1742自治体中トップの健全財政」と自慢し652億円もの基金残高があるのに、自然災害や政治災害から区民生活を守らず、開発・道路建設です。

予算規模は前年より大き
くなっている

予算規模は、前年より5億5600万円増の1331億5400万円。不況なのになぜ前年より予算規模が多くなるのか、その理由は大きく二つ、①区民が払う特別区民税の増（転入者が多く0.6%増になっている）。②予算を使い切らず意識的に余らせて積み立てたり、行革と称して生活保護の法外援護（区独自に予算をつけているもの）など127事業をカットして1億2000万円を削減。こんな冷たい切り捨てをして「全自治体中トップの健全財政」と自慢しています。

防災対策のさらなる充実
が必要

具体的にみると、区民の一番の要望は防災対策（品川区世論調査）ですが、防災対策

の予算額は4億8000万円。内訳は、初期消火の消火対策として街頭消火器の増設、小中学校に消火ポンプ配備、応急物資の確保、災害時要援護者支援経費などです。

しかし、品川は木造住宅が密集している地域だけに、大地震が発生したら建物が倒れ火災が発生して燃え広がってしまう危険性の高い地域なので、街頭消火器をまちの中にたくさん備えること。また、災害時に避難するための支援者が必要な障害者・高齢者にたいする対応が求められています。名簿作成経費にとどまっています。施設に通所や入所している方は不十分ながらも状況は掴めますが、在宅の方はほとんど何の対策もありません。喫緊に状況把握と応援体制を作る必要があります。引き続き取り組みます。



開発に97億円、道路に

1.2億円投入

先に紹介しましたが、防災には4億円余の予算で、開発と道路には100億円近い予算をつけました。逆さまではないでしょうか。

区は、道路建設は燃え広がらないまちづくりにとって必要といい、20m幅の道路と両側それぞれ20m幅の延焼遮断帯をつけます。しかし、大震災の発生で40件の火災が発生すると想定されていますので、道路を造つても道路の両側に火災が発生することになるので、道路幅を広げても効果は期待できないと考える方が妥当ではないでしょうか。それより、燃え広がらない街や住宅にすることが何より重要で

す。

品川区世論調査に示された再開発への期待はわずか5.6%にすぎません。

上大崎3丁目に特養ホームの土地30億円で購入

待機児解消も進む

区民と共産党の共同が実り、特養ホーム増設と保育園増設にも予算が付きました。

ひとつは上大崎3丁目に30億円で100床の特養ホームを建設するために国有地の購入を決めたことです。区の担当部長は「国有地なのに地価が高い」と国の姿勢を批判しましたがその通りです。

もう一つは保育園増設による待機児解消です。

4月の開設予定で幼保一体施設（保育園と幼稚園）が2園、

株式会社立の保育園4園、認証保育園や事業所型の保育ママなどで、484人分のあらたな入所枠が広がりました。

買い物弱者支援と生鮮品

区内に商店街は206ありますが、年々大型店に消費者をとられ、売り上げが減少しています。

共産党区議団は、青果店や魚・肉などを扱う生鮮品店がなくならないように支援を求めてきましたが、ようやく区が予算化しました。内容を聞くと、応援キャンペーン期間を設定して保冷パックを配るという程度です。しかし、商行政に初めて位置付けたという点で評価できます。

いじめのない学校づくり
に本気で取り組みたい

「いじめと自殺は密接な関係があった」と中学1年生の自殺の報告書には記述されていました。いじめをなくす取り組みは最も重要な課題です。

しかし、スクールカウンセラーの増員、いじめ等根絶連絡会議といじめ対策チーム（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、警察OB、学識経験者など）の設置、教員対象の講習会や研修会の開催、各学校での根絶宣言や目安箱の設置などもあります。もちろん評価できるものもありますが、看過できないのは小中一貫校や学校選択制への検証する姿勢がないことです。引き続き取り組みます。

原発の大行動 日比谷野音

3月10日
午後1時

生活・雇用・子どもだて・教育など何でもお気軽にご相談ください
連絡先 南恵子区議会議員 電話(3790)1523